

JAC 埼玉支部 2023 年度 9 月支部山行報告

燕岳 (2,763m) <大天井岳 (2,922m) 中止> グレード☆☆☆

町田美春

- * 日 程 : 2023 年 9 月 30 日 (土) ~ 10 月 1 日 (日) 1 泊 2 日
- * 場 所 : 燕岳 2,763m
- * 参加者 : : CL 小玉、SL 町田、古川、稲越、塚越、萩原、磯崎、平本(真)、平本(美)
計 9 名
- * 行 程 : 穂高駅に集合し、登山口(中房温泉)迄はバスで移動
9/30(土) 7:45 中房温泉登山口→8:25 第一ベンチ→9:00 第二ベンチ→9:44 第三ベンチ
→10:29 富士見ベンチ→11:10 合戦小屋→12:45 燕山荘(荷物デポ) 13:20
→13:55 燕岳山頂→14:20 燕山荘(泊)
10/1(日) 5:35 燕山荘出発→6:24 合戦小屋→9:10 中房温泉登山口
- * 歩行時間 : 1 日目約 6 時間 30 分 (休憩込) 2 日目約 3 時間 30 分 (休憩込)
- * 装 備 : 小屋泊装備 : 食料(1 日目の朝昼・2 日目の昼)、行動食、非常食、着替え、
替え靴下、インナーシート、雨具、ヘッドランプ(予備電池)、
レスキューシート、救急用品、飲料水、ストック、携帯電話、
モバイルバッテリー、防寒着 等

* 行程概要 :

今回、北アルプスの女王「燕岳」と常念山脈の最高峰「大天井岳」山行の予定でしたが、生憎の荒天に見舞われ大天井岳への縦走は中止としました。

秋晴れの中、中房温泉登山口からスタートしました。登山道はアルプスでも指折りの急登ですが、第一から第二、第三、そして富士見平とベンチが設置されています。休憩のタイミングもとりやすく歩く目標にもなりよかったです。合戦尾根ルートは整備された登山道で、安心して歩くことができるルートだと思いました。

参加者の方達は、ゴゼンタチバナやツルリンドウなど高山植物の観察にも余念がありません。花や実を見つけては、これは何?と植物博士に聞き、皆で共有しながら高山植物を堪能していました。



第三ベンチ



ゴゼンタチバナ



ツルリンドウ

夏の合戦小屋はスイカが名物ですが、季節が変わりスイカがお汁粉になっていました。ここでは、少し時間をとり各自お汁粉やおでん、うどん等を堪能しました。急登を登ったあとのご褒美は最高です。

合戦小屋から上は丁度紅葉の見ごろで赤、黄、緑のコントラストが青空に映えとても美しかったです。また、燕岳は花崗岩でできた独特の山体であり、花崗岩の白も合わさり、それはそれは素晴らしい景色でした。



ほぼ予定通りに燕山荘に到着し、チェックイン後荷物をデポし山頂へ向かいました。空は灰色の雲に覆われまもなく雨が降ってきそうな気配でしたが、山頂までの稜線はくっきりと見え、山頂とイルカ岩の前で記念撮影をしました。雲に覆われながらも槍ヶ岳やその山々に続く美しい稜線を見渡すことができ、満足感でいっぱいになりました。



燕山荘に戻り夕食までの時間は、食堂で生ビールやケーキセットを堪能しました。食堂やカフェテラスは、多くの人で賑わっていました。夕食はハンバーグに魚、生野菜やデザートまで付いた豪華な食事で、ここが山の上であることを忘れてしまいそうになりました。食事中、オーナーが燕岳の自然を守る活動や安全登山について等、貴重なお話をして下さいました。今でこそ、燕岳のコマクサの群生は有名ですが、ここまでになるのに20年を要したと聞き、登山者一人一人の行いが非常に大切だと痛感させられました。そして、念願だったアルペンホルンの音色を聴くことができ感動しました。

お腹と心が満たされましたが、外は雨が降り出し時間と共に雨足が強くなってきました。翌日の行動予定をどうするか協議を重ね、状況によっては縦走を中止にすることになりました。夜半から朝方にかけて風雨が一層強まり、行程を継続することは危険と判断しリーダーから下山することが伝えられました。ヘッドランプを点けた状態での下山も厳しいことから明るくなるのを待って5時半過ぎに下山を開始しました。山小屋を出た瞬間、吹き飛ばされそうな程のものすごい風が吹いていました。テント場から下山道に入ると風は遮られ雨も少し落ち着いてきました。足を滑らせないように一步一步着実に歩を進め、合戦小屋迄は1時間弱で到達し中房登山口には9時過ぎに到着しました。雨は上がり青空が出ていました。皆、怪我をすることなく無事に下山できました。

***参加者の感想：**

【小玉和孝】

「燕岳、大天井岳」山行のリーダーとして、楽しく、事故もなく無事終了出来た事、参加の皆さんに感謝申し上げます。1日目は天候も良く、計画通りに中房温泉登山口～燕山荘～燕岳～燕山荘に行くことが出来ました。2日目は低気圧の影響で荒れた天気となり、ベテラン登山者の古川さん、稲越さんにアドバイスを頂き、出発直前に縦走は中止としてエスケープルートでの下山となりました。これからもベテラン、初心者で安全で楽しい登山を続けて行きたいと思います。

【古川史典】

7月の下見に続き、本番で初めてお会いする方々と、初日登山日和2日目一時的な冬型気圧配置で風と足の指が海水浴の登山でした。でも皆さん健脚で楽しさ元気一杯紅葉には少し早めの楽しい登山ができました。又久しぶりに山岳部の後輩に会うこともできました。お世話になりました。

【稲越洋一】

燕岳は人生で最初に登った山です。信州(自分の故郷)では、地域にもよりますが中学2年の登山実習として登る山(勿論、日帰り)であり、特徴ある頂上の風景は今でも鮮明に覚えています。山登りを本格的に始めた後も登っていますが日帰りであり、今回、燕山荘泊まりに加えて大天井岳への縦走も魅力があり参加しました。残念ながら縦走は気圧の谷通過による荒天のため断念しましたが、適度な登りの疲労感、燕山荘での楽しい食事や団らん、花崗岩の特徴ある造形を眺めながらの頂上へのアプローチと、改めて三拍子揃った名山だと感じました。日帰りでは勿体ないですよねぇ。。

【萩原みか】

燕岳は2回目。合戦小屋までが短く感じた。紅葉が遅れたおかげで合戦小屋から上の紅葉はキレイに色づき始めた頃だ。赤と黄色が入り混じる。燕山荘に荷物を置き、燕岳へ。花崗岩の白に紅葉が映え、感動した。燕山荘の夕食後はここがいかにか貴重な自然であり守られているかというお話とアルペンホルンを今回はじっくり聞く事ができた。2日目の悪天候はやはり好転ならず、低体温症の懸念があるため燕岳から中房温泉への下山が決まった。ベテラン方の天気の情報収集と、それによる決断的確さにいつもながら感心させられる。山行に参加するごとに学ぶ事があり、ご同行の皆さんに感謝します。

【塚越和子】

初めての燕岳、大天井岳の縦走を楽しみに参加しました。2日目は、生憎の雨と強風の為、先に行かず、戻らざるえませんでした。でも合戦小屋でのお汁粉も、頂上のイルカ岩も、大天井の稜線も、眺められて大満足でした。イルカの背中に、座りたかったけど、流石に考えることは、皆一緒のようで、しっかりと、ロープが張られてました。当たり前ですね。来年こそは表銀座を歩きたいです。皆様ありがとうございました。

【町田美春】

今回、荒天のため大天井岳への縦走は中止となり残念でした。しかし、合戦小屋でお汁粉も食べたし紅葉も見れたし、燕山荘での食事は美味しかったし、念願だったアルペンホルンの音色を聴けたし、みんなで楽しく山行できたのでとても満足しています。

【平本真二郎】

今回の山行では、集合場所（穂高駅）近隣の道の駅に車中泊し準備を整えました。燕岳は2回目の山行ですが、頂上の素晴らしい山容以外あまり印象に有りませんでしたので、今回はポイントを確認しながら登って行きました。その中で感じたのは、さすが人気の山なので登山道も整備されていますが、人の多さは高尾山に匹敵するレベルでした。燕岳山頂付近は花崗岩の岩が点在し、今回も美しい山容を見ることが出来ました。また、天候の関係で大天井への縦走は出来ないままでしたが、燕山荘の宿泊では食事を含め全てが最高で、また来たくなる山小屋でした。

【平本美恵子】

北アルプス3大急登の1つ合戦尾根から燕岳、大天井岳の縦走からの一気に登山口まで下山とかなりハードな山行をチャレンジしたくて覚悟して臨みました。2日目の雨と風速15メートルの荒天で大天井岳へは中止となり残念でしたが、燕岳の白い花崗岩の山頂はすばらしかったです。燕山荘の快適な山小屋と美味しいごはん、皆さんとワイワイと楽しく過ごせてとても幸せでした。

【磯崎佳奈】

行くか行かないか散々迷った燕、大天井岳でした。2日目が10時間を超えるということで1日目でへろへろになると思われる私にはちょっと無理かとも思ったのですが、行ってよかったです。皆さんのお陰で今回も無事下山できました。ビール美味かった！



合戦小屋



うどん・おしるこ〜♪



アルペンホルン演奏



ケーキセット



夕食のひと時



講演